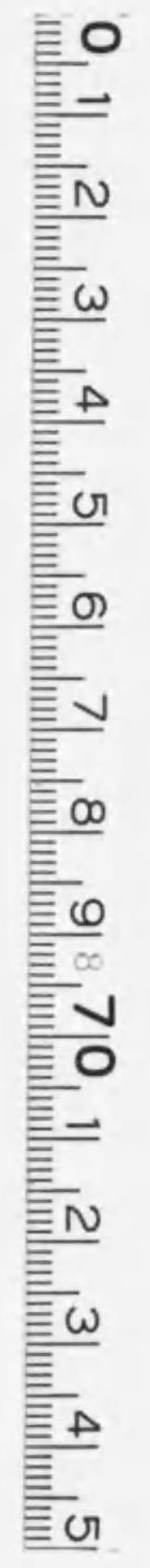


特201

387

物  
し  
漢  
堂  
之  
印



特 261  
387

水流石

奎堂題



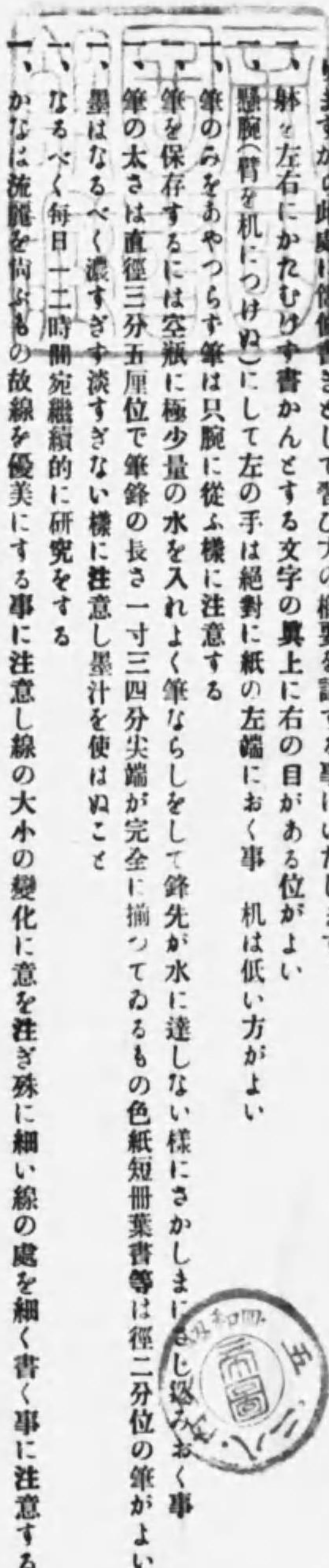
かなど云へば直ちに女子専用の文字なりとの僻見にとらはれてかな文字の價值といふものに對して全で無關心な方が甚だ多い様であります。元來假名は壹千百餘年の長年月本朝人の手によりて育まれて來ました實に本朝獨特の藝術であります。想を遠く平安朝の昔に馳せて絢爛として遺れる墨跡に眼を注ぐ時誰か恍惚として其の風韻の氣高さに驚かないものがあるまいや、然かも艶麗典雅の風致の中にも其の線が如何に男性美に富めるかと窺はれるのであります。道風然り行成然り俊頼然り、あゝこれをしも女子専用の文字なりとは、

只圓滑なる線を見て、流暢なる外形の美のみを捕へて直ちに女文字なりとの断定は是將に爛漫たる櫻花の美のみを見て大和武士の權化たる事を知らぬと一般ではないでせうか。然かも現代の一般人として男だからとて假名を使はずして手紙一本でも書き得ますでせうか。殊に今日に於てはむづかしい漢字が段々影をひそめて假名文字を代用するといふ新時代に遭遇してゐるではありませんか。事實上男女共に使用してゐる假名文字を特に女文字だとは餘りに不合理な話ではありませんでせうか。幾多の特長を有して絶對に他國の追従をゆるさない我國特有の假名文字をして益々その光を發せしむべく研究の歩を進めてゆく事はむしろ國家を愛する日本人としての立派な務めではありませんまいか。

假名は漢字と違ひ字數が少い爲に反復して練習する事が出來ると共に結構が極めて單純である爲に初學者でも容易に會得する事が出來るのであります。然かもかなの研究によつて運筆の呼吸が解り習はずして漢字殊に行草の運筆を會得して漢字研究の基礎を築き上げると云ふ一舉兩得偉大なる効果を收める事が出來るのであります。此處に於て漢字とかなの調和を究め一方に逼せずして歌も文章も手紙も共に意のままに筆を走らせて心自ら樂しむの境地に達する事が出來るのであります。

習ひ方概要

習字は一般に天才によつてのみ上達するものと誤信されてゐる様ですが決して天才のみの獨占ではなく只努力の結晶になるものであつて其の努力が繼續するか否かによつて岐れるものであります。そのつもりで充分の研究を切望します。漢字でもかなでも全じ事です。習字に當つて只手本を見て無意識に書いただけでは仲々上達するものではありません。又餘りに運筆に過ぎたり走筆に過ぎたり亂雜書きになつたりして習ひ方をあやまつては尙上達といふ事は覺束ないものであります。ますから此處に簡條書きとして習ひ方の概要を識する事にいたします。



一、變体かなと雖も漢字の筆意と區別しかならずしく書く

イ、手本の一枚を半紙一枚に習ひ文字の大きさ配置等は手本の通り

ロ、一字宛完全に研究すること例へば「い」の字を練習する場合

1、第一畫の起筆の方向を見定める、 2、尖端の形狀を考へる、 3、どんな大きさの曲線でどんな方向にひき下し

どんな方向にハネてあるかを注意する、 4、第二畫の起筆は第一畫のハネと如何なる關係にあるかを見る、 5、第一

畫の下端との位置を對照する

右の様に一点一畫もゆるがせにせず細密なる研究を終へて書いては手本と比較對照して缺點がなくなる迄研究する、然る

後に次の「い」の字に移り同じ研究をなし順次先に進んで十二字の研究がすんだら全体の清書をする、これが第一日の仕事

である、二日目もこれをくり返す、三日目にはじめて最後の清書をする、四日目に次の頁に移つて各頁毎に三日間の研究をなす。

二、連綿体を習ふ時の注意

イ、手本一頁を三日間研究する事獨草体と同じ

ロ、結体は獨草体に於て充分の研究が出來てゐる故形よりもむしろ各字

を連ねてある曲線即ち連綿の具合を研究する

ハ、運筆の遲速緩急の度合又は休み處の研究をなす

ニ、墨繼の要領を研究する(墨繼ぎと墨のふくませ加減は密接なる關係あり故充分の研究を要す)

ホ、各行の文字の大小長短廣狹等配合の美を研究する

ヘ、各字がそのある場所によつてどんな變化をしてゐるかを見る

ト、漢字とかなの調和を研究する

一、觀賞物の研究

イ、紙面に對する全体の位置に注意する

ロ、墨を繼ぐ處は肉太く墨淡くなるにつれて次第に線稍細くなる處等注意

又爾 者者 為呂 以次

便保 也盤 路路 之以

得保 仁仁 使波 評評

里

知

止

本

利

知

止

部

奴

利

登

通

の 可 物 和 類 類 過 忘

采 采 且 五 在 遠 為 留

と 与 力 加 裁 裁 付 流

为 曾 礼 禮 了 當 与 与

楚 楚 连 連 当 當 太 太

门 門 名 曾 礼 禮 多 多



心 心

又 又

祿 祿

都 都

其 其

ら ら

な な

法 法

舞 舞

羅 羅

身 身

相 相

く 久

乃 乃

井 井

う 宇

么 久

お 於

の 乃

字 宇

也 也

於 於

能 能

為 為

布 布

布 布

滿 滿

也 也

己 己

介 介

萬 萬

屋 屋

古 古

不 不

計 計

末 末

支

使  
支

寸

左

丿

天

之

祚

起

記

休

左

安

安

江

江

由

由

来

来

阿

阿

丿

天

素 衛

之

子 美

遊 遊

比 比

志 志

之 三

女 女

比 飛

志 志

美 美

免 免

教 教

勢 勢

毛 毛

悲 悲

者 者

寸 寸

世 世

毛 毛

二

須 須

世 世

蒙 蒙

事何月

年自

年

物女一乃

之乃

物



の一寸に於て

一歩は進歩す

歩むに由りて

子公之書

子公之書

子公之書

物女 物女

水の 水

水 水

好 意 也

心 是 也

好 意 也

六  
行  
の  
事

六  
行  
の  
事

六  
行  
の  
事

一、一、一

一、一、一

一、一、一

伊予の海産物

一丁儀お梅さん

おへんたに  
おへんたに

此之存之所稱在

中是行方者語也

此之存之所稱在



河津侯申す

初の春に

正月に

河約東

子子子子子子

初合

Handwritten cursive text, likely a signature or name, possibly reading "D. J. ...".

Handwritten cursive text, possibly a name or signature, possibly reading "J. ...".

Handwritten cursive text, possibly a name or signature, possibly reading "J. ...".

Handwritten cursive text, possibly a name or signature, possibly reading "J. ...".

今更に、  
其の如く

其の如く  
其の如く

其の如く  
其の如く

其の如く  
其の如く

Handwritten cursive text, likely a signature or name, consisting of four distinct characters or groups of characters written in a fluid, connected style.

一  
S  
S  
S  
S  
S

茶

茶

茶

あはれは

あはれ

あはれ

一 字 一 字 一 字



沙 持 何 子  
持 子 何 子  
子 何 持 子  
子 何 持 子

あまのこころに  
あまのこころに  
あまのこころに  
あまのこころに

其 亦 亦 亦 亦 亦

其 亦 亦 亦 亦 亦

其 亦 亦 亦 亦 亦

其 亦 亦 亦 亦 亦

Handwritten text in a cursive script, possibly representing a name or a signature. The text is arranged in three lines, reading from right to left. The first line contains the characters '師' (Shi) and '長' (Chang). The second line contains '長' (Chang) and '子' (Zi). The third line contains '子' (Zi) and '長' (Chang). The characters are written in a fluid, connected style.

「此書の初巻は

『新編』の巻一

から始まる

一冊にして

そ、あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

小呂宋、檳榔嶼、峇株巴轄

、吉隆坡、怡保、芙蓉

、馬六甲、新加坡、檳城

、吉隆坡、怡保、芙蓉

新加坡で雷車をお見  
せし一助道をお見せし  
して門下大なる程の本はあ  
るからすべし



Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left side of the page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left side of the page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left side of the page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left side of the page.

か  
か  
か  
か

Is this

the same

as the

たし  
あ

いふは  
物さ

ふり  
し

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically.

之  
以  
此  
為  
記

其  
日  
亦  
甚  
為  
奇  
也

遊  
湖  
之  
概  
也

予  
之  
遊  
湖  
也

可  
以  
自  
己  
來  
寫

也  
不  
能  
不  
寫

我  
們  
在  
這  
裏

寫  
一  
些  
話

公體に於て物志は

之に於て其の如く

の如く其の如く

之に於て其の如く



草花のついでに

高瀬にてある口説き入り

を強にわらふ  
書

いふにたはた

久未

貴公の御奨励による

複製特許も、  
得

字の次々に制限

力打口福子<sup>の</sup>社会<sup>の</sup>

宝殿<sup>に</sup>行<sup>は</sup>なす

国民教育<sup>に</sup>たす

活<sup>は</sup>す

病の一日と云ふ事

の事からいへば

病の期間

事

2011年11月

11月11日

11月11日

11月11日

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

新  
心  
行  
了

一  
自  
心  
了

部  
心  
行  
了

此  
一  
行  
之  
後  
已  
始  
也



か  
か  
か  
か

か  
か  
か  
か

か  
か  
か  
か

か  
か  
か  
か

おとねのうた  
おとねのうた  
おとねのうた  
おとねのうた

日かゝる程の鐘をこゝろ  
くわくおんいゝた  
流の志がもつ涼くま  
ちかふあほかきまき  
るおひがこゝろ  
実と師めふあゝ  
つ夜おぬのこゝろ  
がのりり下おん

お月ひーのぞきあつたの  
すーあつちいも御ま  
の及でほしあつちいにか  
どしたあ依頼の書物ハ  
御成あつちい送つて  
おつちい

七月十五

緑樹生

秋山夕陽

唯のほお、おまほ様を  
大坂様へ、ら、ご  
あつた御経乃  
中、に、あ、る、お、の  
事、を、お、説、く、お、の  
て、大、層、の、建、立、を、お、の  
御、お、の、お、の、  
た、い、  
こ、の、お、の、お、の、  
お、の、  
お、の、

乃、經、を、編、む、事、  
大、に、お、の、お、の、  
の、事、に、お、の、お、の、  
い、お、の、お、の、  
お、の、お、の、お、の、  
た、の、お、の、  
お、の、お、の、  
お、の、  
お、の、  
お、の、

謹賀新年

昭和五年元旦

熊本市新屋敷町三三九

浦島亀之助

恭賀新喜

昭和五年元旦

熊本市白川町五六

松崎梅吉

あけましておめでとう  
たけなごころいとし

どうぞお慶びませう  
御んごころいとし

一月えと

松竹あけなご

新年のみち

めでた〜

申あけなご

百一

新年のあけなご  
とあなご

Handwritten cursive text, possibly a signature or name, located in the upper right quadrant of the page.

Handwritten cursive text, possibly a signature or name, located in the lower right quadrant of the page.



Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name, written on a piece of paper with faint horizontal lines. The text is oriented vertically and appears to be a single name or signature.

注册自己的作品集 - 杨金

注册自己的作品集  
杨金

注册自己的作品集  
杨金

種冊地人の物と書し均居

種冊地人の物と書し均居  
種冊地人の物と書し均居

種冊地人の物と書し均居

種冊地人の物と書し均居  
種冊地人の物と書し均居  
種冊地人の物と書し均居

—  
The  
The

is  
The  
The

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located in the upper right quadrant of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located in the lower right quadrant of the page.

茶 公 女

茶 公 女

茶 公 女

○ 好 心 手

○ 好 心 手

○ 好 心 手

10/10/06

Dear Mr. [unclear]

I am [unclear]

Yours

[unclear]

[unclear]

[unclear]



しきりな中ことなほら  
うらぬ事ではかからぬ事  
しきりな中ことなほら  
去月十日に死去した  
りも物お子たむひの  
わらうしをうぬ知れ  
まら方ですら御事ら  
ましきりな中ことなほら  
あはれ下やうにたう  
てうらまうのり  
かあまいたのちのせん  
えん事でものうのせん  
しきりな中ことなほら  
しきりな中ことなほら

一江自詠 他古人の作の場合

水 龍 家  
 龍 卷 風 吹 浪 打  
 浪 打 風 吹 龍 卷 雲  
 雲 卷 風 吹 浪 打 龍

夏 月 涼  
 涼 風 吹 綠 柳 花  
 花 開 蝶 舞 燕 飛 忙  
 忙 忙 忙 忙 忙 忙 忙

了 終  
 終 終 終 終 終 終 終  
 終 終 終 終 終 終 終

何れか世の歌の場面  
~~~~~  
~~~~~

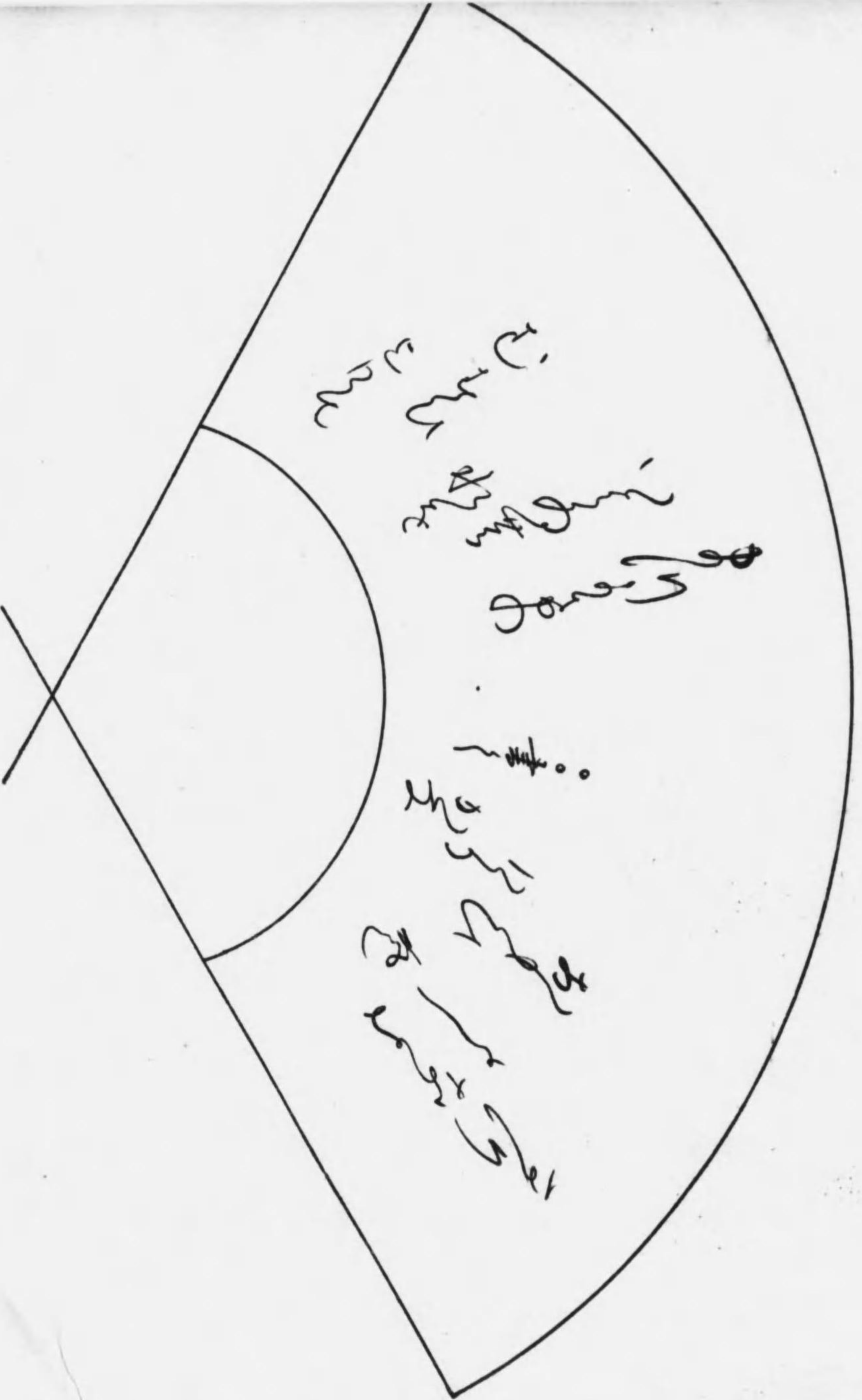
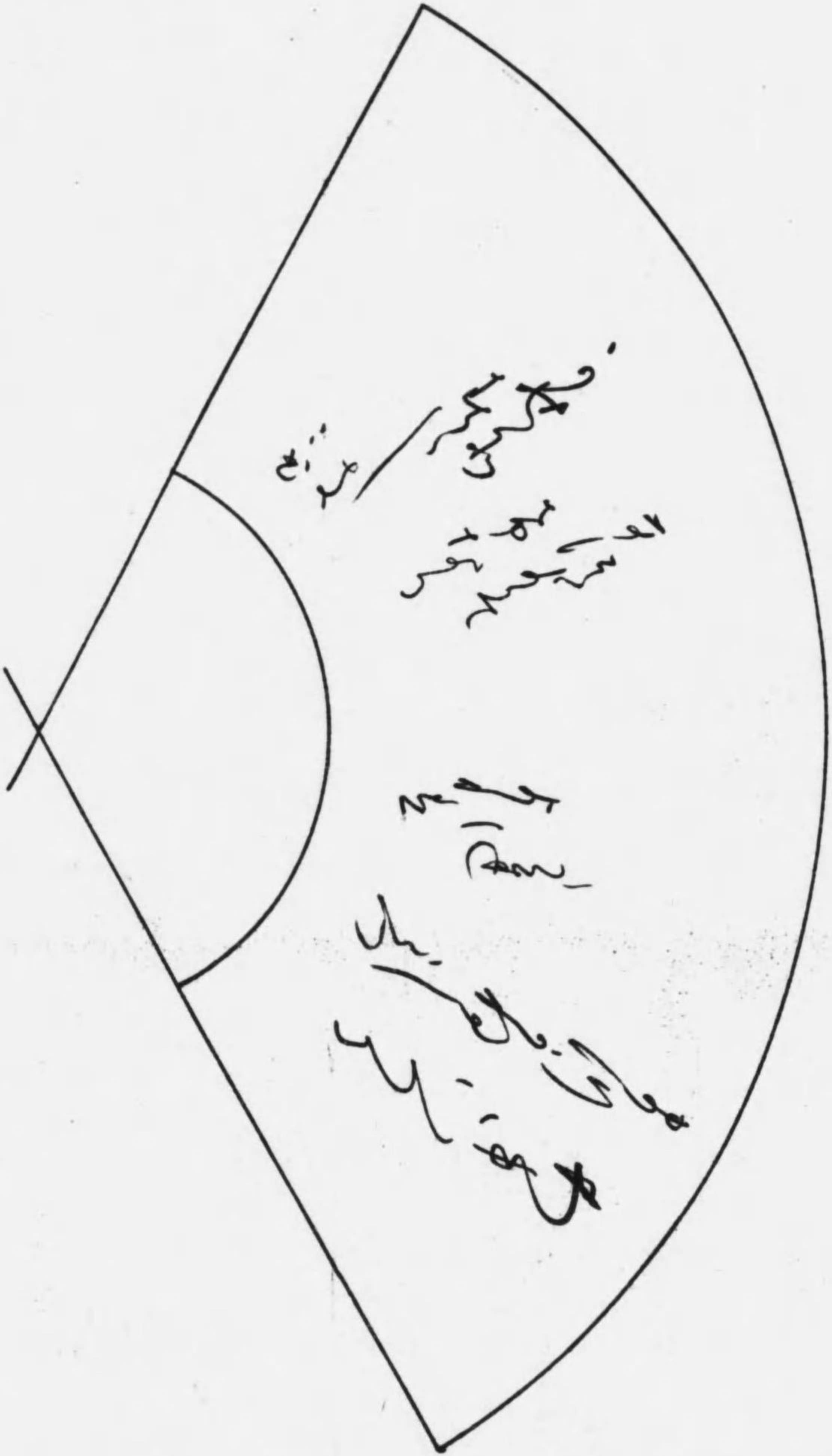
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

奉書

此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書

此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書  
此書



314  
138

昭和四年四月二十五日印刷  
昭和四年五月二十日發行  
(少くとも也)  
定價 金壹圓半錢  
書者 上村 啓  
發行所 熊本市大正町九品寺一五四  
印刷所 松永印刷所  
熊本市船場町下丁目世三  
發行所 岩崎商店 泉會  
熊本市大正町九品寺一五四

終

